

自己評価結果公表シート

作成 なかのしま幼稚園

令和6年4月1日

1、 本園の教育目標

「強く、正しく、元気に」をねらいとし、遊びを通して一人ひとりが成長していくことができるようしていく。また、集団の中で友達を意識し、友達を受け入れていくことの心地よさを知りながら、友達と一緒に遊びを進めていくことができるように、配慮していく。色々な経験をしていくことをねらいに、一斉保育を行うが、遊びの中に自ら参加してきてくることができる環境を大切にしたい保育を目指していく。

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・教育課程、指導計画の検討、保育内容の改善に取り組む。
- ・研修を通じ、教員の専門性・資質の向上を図る。
- ・子ども達が主体的に活動できる保育を目指す。

3、 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	年度の初めに教育課程を見直すと共に、月のねらい、週のねらいを立てる際に教員の共通理解を図り、編成を行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	園長・副園長・教務主任で長期的なビジョンを計画・理解したうえで、中期的なビジョンを会議・園内研修を通して共通理解を図っている。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	日々の子どもの姿について話し合うため、午前保育や研修設定の日には園内研修を行い質の高い保育、保育の充実を目指している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	相談所として相談、要望、苦情の対応に努めている。

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、課題解決に向けて実践を行ってきた。また、園内研修等を通して園での目標や計画を明確に示してきた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	玄関の鍵を常時閉め、インターホンカメラにて人物の確認が出来てからの開錠。監視カメラを設置し、事務室にて監視。市教育委員会や警察からの不審者情報の確認。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成を作業療法士と共に行い、希望者には作業療法士による個別の訓練を行っている。また、定期的に支援の必要な子どもの勉強会を開き、教職員の共通理解を図っている。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6、学校関係者の評価

ECEQの公開保育を通して、先生方が保育の課題を自覚し他者（同僚）とその課題を共有しながら保育に取り組む姿が見られた。特に、年長中組の異年齢活動においては、問いづくりの段階において先生方が主体的に取り組む姿が見られ、このような姿は今後も様々な課題に取り組むうえで活かされていくと考える。まずは、学年で課題を共有するという事を主軸としながら、意識的に話し合う時間を設ける事で、先生達自身も自分の考えを発信し他者の意見と折り合いをつけていくというプロセスが日常の保育の中でも自然に行われていく事と考える。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。